

2017年4月6日 Vol.75

IPO後に株価低迷する企業に求められる施策

日本経済の発展にとって新たな成長企業の登場は重要な要素の一つです。そのためにも成長資金を提供する株式市場に積極的に成長を指向する企業がIPOを行い、運用ニーズのある投資家のリスクマネーを呼び込みながら成長を遂げていくのは理想的な姿だろうと思われます。昨年の83社に続き今年も27社が既にIPOを果たしていますが、3600社余りの既存上場企業がある市場に対して何らかの理由で上場を廃止する企業もあれば新たな株を上場させる企業もあって、新陳代謝が図られることは正常な姿と言えます。株価は事業の栄枯盛衰を反映して変動を繰り返しており、投資家は中・長期投資だろうと短期投資だろうと業績や市場環境に絶えず関心を寄せながら運用するのが常です。上場を果たして投資家にも評価されて株価が上昇するケースもあれば、なかなか投資家に評価されずに、むしろ見切り売りに見舞われ低迷するケースもありますが、後者の場合においてIRの視点では認知度向上のためにより積極的なメッセージを投資家に発信する必要があります。

上場した以上は成長指向であることが求められるのは当然で、そうした視点がなく取り敢えず上場したが、後は野となれ山となれではリスクテイクした投資家は浮かばれません。一般的にマザーズに上場した企業はより積極的な成長策を図るとの期待が高く、JASDAQや東証2部銘柄は安定した業績進捗を図ろうとする企業イメージがあります。また、一定以上の事業規模を備えて、いきなり東証1部に上場を果たす企業もありますが、これは既にビジネスが完成され、洗練されての上場で、中には再上場の場合もあります。時価総額も数百億円規模で安定した業績を上げられるだけの実績を持つ、市場の認知度も高い銘柄が大半です。

念願のIPOを実現させた後、経営者は自社の株価の推移が気になるかも知れません。株価は経営状況を映す鏡でもあり、その株価がIPO後に低迷していればその原因を追究し、それがIR不足によるものであれば大至急、次の一手を打つ必要があります。多くのIPOしたての企業の株価は成長期待からプレミアムがついているケースが大半ですが、中には長期にわたり低迷が続く場合があります。それが初値だけでなく公開価格を大幅に下回っている場合にはそのIPO自体が全否定されているぐらいに憂慮しないとなりません。筆者は先般2016年以降のIPO銘柄について株価をチェック致しましたが、IPO後に株価上昇傾向が続く企業とは反対に低迷傾向が見られる以下のような企業についても、ぜひ投資家の期待に応えるべく、業績の向上を図るとともにこの際、積極的にIRに努めて頂きたいと考えております。

【2016年IPO銘柄で株価低迷傾向が見られる10銘柄】

1. グローバルグループ(6189・マザーズ) 上場日3月18日 保育園事業
公開価格2000円 初値3200円 高値3655円 安値1566円
時価1630円 今期経常利益が10.4億円と大幅減益が見込まれる中で株価下落

東京 IPO 特別コラム

2. フェニックスバイオ (6190・マザーズ) 上場日3月18日 PXBマウス
公開価格2400円 初値2350円 高値3775円 安値1475円
時価1585円 業績下振れで株価低迷中だが業績は増益基調。時価総額46億円。
3. やまみ (2820・JQ) 上場日6月17日 豆腐製造販売
公開価格1690円 初値1751円 高値1793円 安値1371円
時価1683円 地味な業態との印象からか上場後の株価の推移は穏健。
4. バーチャレクスコンサルティング (6193・マザーズ) 上場日6月23日 IT
公開価格1090円 初値1235円 高値1986円 安値764円
時価794円 3月期決算を下方修正して以来株価低迷、本日最安値をつける。無配。
5. コメダホールディングス (3543・東証1部) 上場日6月29日 珈琲チェーン
公開価格1960円 初値1867円 高値2002円 安値1555円
時価1794円 業績は底堅く連続増益続くが上場後の株価は穏健なまま推移。
6. デファクトスタンダード (3545・マザーズ) 上場日8月31日 リユース
公開価格1630円 初値2300円 高値2380円 安値1245円
時価1481円 BEENOS子会社 1Qの進捗率低く株価低迷。無借金経営。
7. ベイカレントコンサルティング (6532・マザーズ) 上場日9月2日 IT
公開価格2100円 初値1963円 高値1999円 安値808円
時価1241円 上場後3か月で通期業績を大幅下方修正し株価急落、その後持ち直す
8. アイモバイル (6535・マザーズ) 上場日10月27日 広告配信ネットワーク
公開価格1320円 初値1280円 高値1297円 安値888円
時価1006円 今期小幅増益見通して株価は公開初値から3割下落し反転
9. バロックジャパンリミテッド (3548・東証1部) 上場日11月1日 女性衣料
公開価格2000円 初値1900円 高値1903円 安値1198円
時価1222円 前1月期の業績下方修正が尾を引き株価は低迷するが見直しの余地
10. 船場 (6540・東証2部) 上場日12月19日 商業施設の企画・設計・施工
公開価格1290円 初値1193円 高値1294円 安値1043円
時価1191円 前12月期業績上方修正ながら今期高水準横ばいで株価は反応薄

(東京 IPO コラムニスト 松尾範久)